

実習テーマ	核融合炉構造材料の強度・組織に関する研究
実習場所	六ヶ所核融合研究所 核融合炉材料研究開発部 核融合炉構造材料開発グループ (青森・六ヶ所)
所属・学年	京都大学大学院 エネルギー科学研究科 修士1年
実習期間	2019年7月29日 ~ 8月2日

QST サマースクールに参加しようと思ったのはなぜですか？

本実習に参加した動機は二点あります。まず一つ目は、大学で機械工学を専攻し、大学院で核融合に関する研究に携わり始めたことから、これらがどのようなつながりを持っているのかを学びたいと思ったからです。二点目は、核融合に関する知識を幅広く得ることで、今後の研究に役立てたいと思ったからです。

どんな実習をしましたか？

核融合原型炉(DEMO 炉)において用いられる低放射化材料である、F82H 試験片の高温・常温引張試験を行い、ひずみや引張り強さを比較しました。また、試験片の破断面の電子顕微鏡観察を行うことで、破壊挙動の推定を行いました。

一番印象に残ったことは何ですか？

六ヶ所核融合研究所にある最新の実験設備やスーパーコンピューター、IFMIF など様々な設備を見学させていただき、特に印象に残っています。また、六ヶ所村の自然、文化に触れる機会も多く設けていただき、印象に残っています。

●代表的な1日

09:00	研究所に到着
09:00~12:00	実験準備・実験
12:00~13:00	研究員の方々とランチ
13:00~17:45	研究員の方と議論を行いながら実験結果の整理
18:00~	宿泊施設に到着

実習の様子

